



# 森のセミを調べよう

中学年程度

季節：夏のはじめごろと終わりごろ

時間：2時間～

-  夏のはじめごろと終わりごろの、セミやセミのぬけがらを観察しましょう。
-  観察したことから、調べた山(森)にすむセミの特徴をまとめてみましょう。

## さあはじめよう (進め方)

- 3～4人でグループをつくります。
- はじめに、調べる場所を決めます。(セミが鳴き始める時期の前に)  
近くの山(森)や社寺林で、歩きやすい場所を選びます。  
調べる範囲も決めておきます。(木などを目印にして)  
範囲が決まったら、前年のぬけがらを取り除いておきます。
- 「夏のはじめごろ」の観察をしましょう。  
鳴き声からセミの種類を調べます。  
決めた範囲の中の、セミのぬけがらを集めます。(グループで手分けして集め、まとめましょう)
- 「夏の終わりごろ」の観察をします。  
3と同じやり方で調べます。
- 3と4の結果から、調べた山(森)にすむセミの特ちょうをまとめましょう。

### 準備

用意するものは

ワークシート	筆記用具
バインダー	ビニール袋
メジャー	

服装は

長そで、長ズボン、ズック、帽子



## 資料 1

## 身近な山(森)でよく見られるセミのなかま

セミは夏をにぎやかにする代表的な昆虫です。また、幼虫が地中で数年間も生活する（アブラゼミは6年間、ニイニイゼミは4年間）という、興味深い生活史をもつことでも知られています。

北海道から九州（島部は除く）に分布するのは16種類いますが、そのうち島根県の市街地から低山地にかけて普通に見られるのは、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシ、ニイニイゼミの5種類です。そのほとんどが7月～8月に発生し、成虫は樹液などを吸って生活します。鳴くのはオスだけです。成虫は1週間から10日ぐらいしか生きることができません。



アブラゼミ



ミンミンゼミ



ニイニイゼミ



ヒグラシ



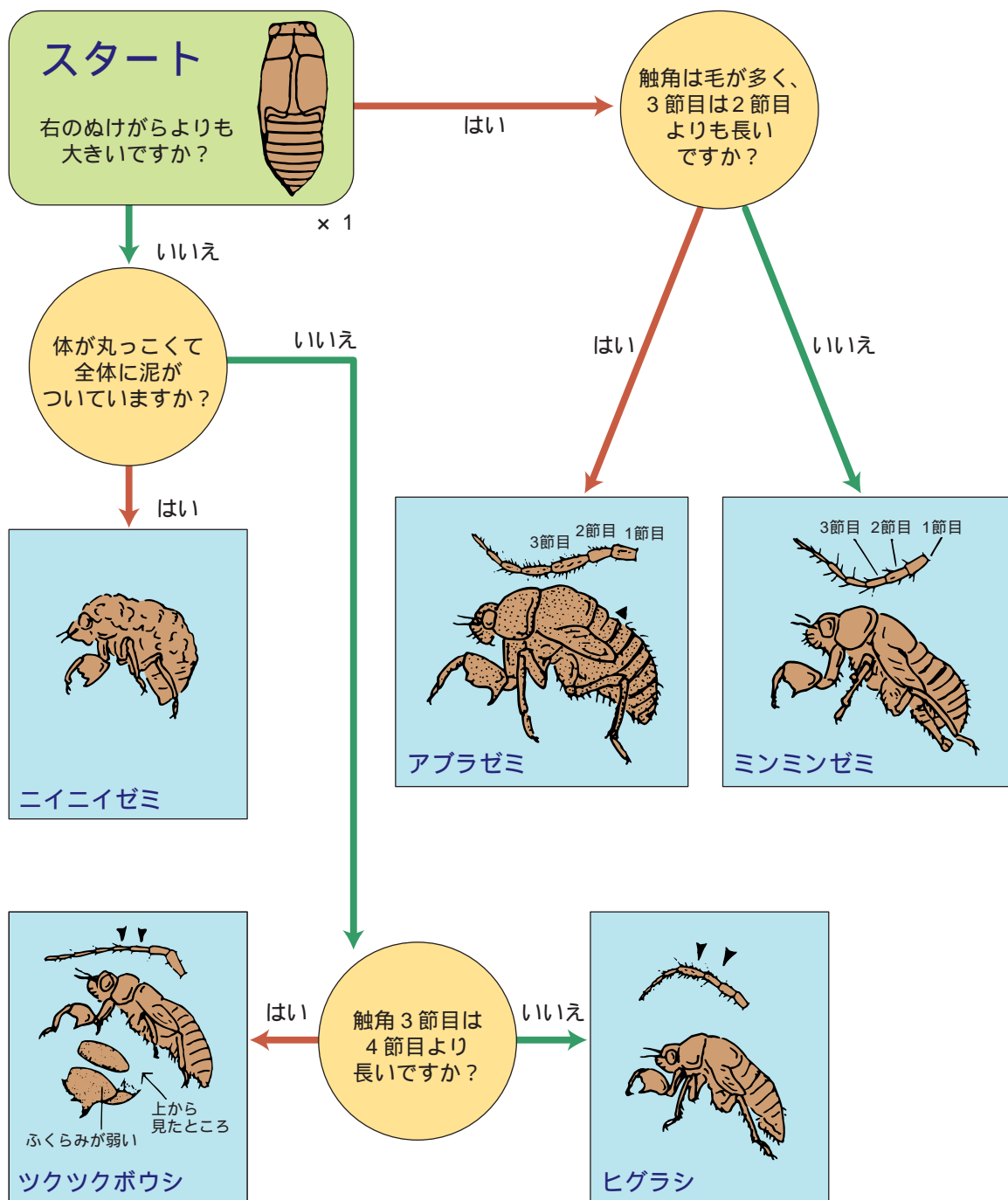
ツクツクボウシ

## 【鳴き声】

- |         |             |
|---------|-------------|
| アブラゼミ   | 「ジージー」      |
| ミンミンゼミ  | 「ミン・ミンミン」   |
| ニイニイゼミ  | 「ニイニイ・ニイニイ」 |
| ヒグラシ    | 「カナカナ・カナカナ」 |
| ツクツクボウシ | 「ツクツクボーシ」   |

## 資料2 セミのぬけがらの見分け方（検索図）

セミのぬけがらでセミの種類を分類するには、その全体の大きさと触角の節の長さが決め手となります。下の検索図を使って分類してみましょう。



参考)「教材生物ガイドブック」(広島県立教育センター)



# 森のセミを調べよう

(夏のはじめごろの観察)

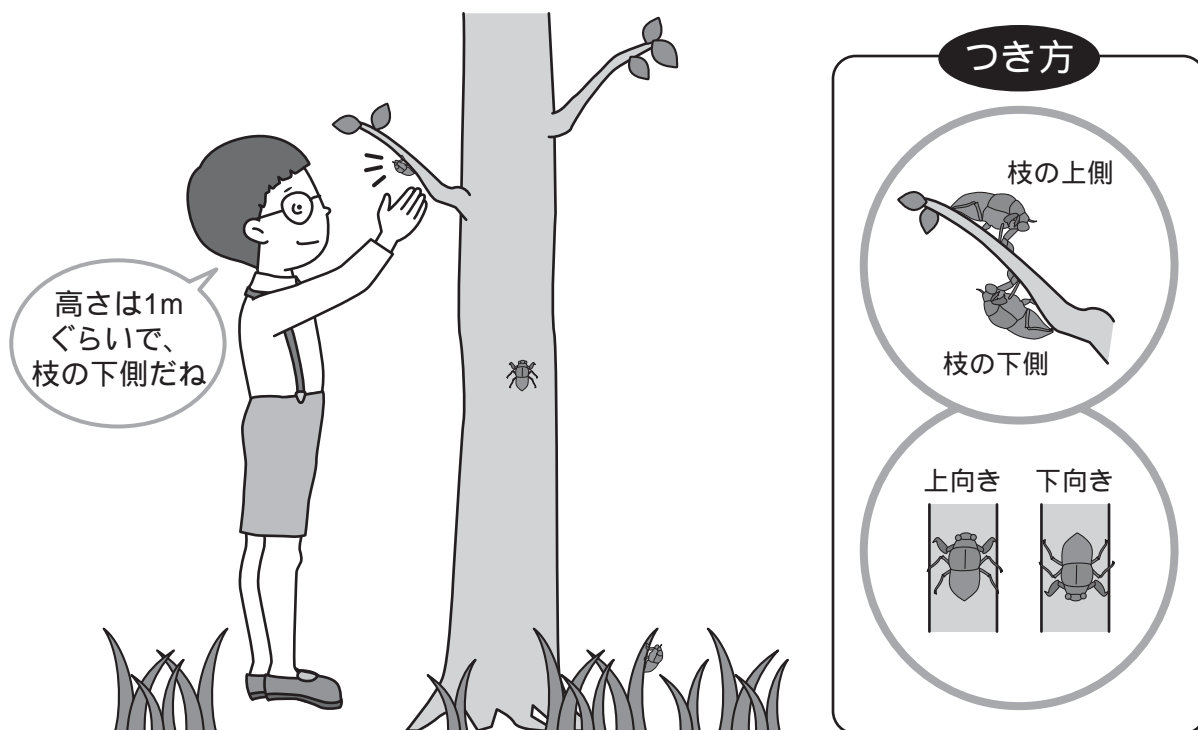
調べた日	年 月 日 ( )	グループ名	
時間	時 分 ~ 時 分	氏名	

まず、夏のはじめごろのセミとセミのぬけがらの観察をしましょう。  
鳴き声で、セミの種類や、どの種類のセミの数が多いかなどを判断しましょう。  
記録は(例)を参考にして書きましょう。

## セミの鳴き声で調べよう

鳴き声	名前	数	気づいたこと
(例)ジーーーー	アブラゼミ	一番多いと感じた	サクラの木にとまっていた。 茶色い羽ですぐに見つかった。

## セミのぬけがらを調べよう



	セミの種類	地面からの高さ	ついていたところ	つき方
(例)	アブラゼミ	1 mぐらい	サクラの幹	上向き
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

## 気づいたことをまとめておこう



# 森のセミを調べよう

(夏の終わりごろの観察)

調べた日	年 月 日 ( )	グループ名	
時間	時 分 ~ 時 分	氏名	

## セミの鳴き声で調べよう

鳴き声	名前	数	気づいたこと

## セミのぬけがらを調べよう

	セミの種類	高さ	ついていたところ	つき方
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

## 夏のはじめごろと終わりごろのちがいをまとめよう